

第53期 労働講座 2年ぶりの開催!

2022年2月22日、第53期労働講座を開催しました。参加者はオブ参加も含め、全体で29名の受講となりました。10時に松永書記長より開校式にむけた挨拶、講師紹介があり、続いて真島委員長より主催者挨拶を行いました。コロナ渦により、2年間労働講座が開催出来なかった事のジレンマを語り、リモートながら第53期労働講座を無事開催できる事を報告いたしました。労働講座まとめとして、コロナ禍終焉においては全体が結集した講座と交流の両輪が再開できるよう準備を進めていくこととし、閉会いたしました。

第53期中央労働講座次第

1. 開講式、講師紹介
2. 主催者挨拶
特別報告「22春闘の重要性」
3. 講義①「巻原発反対運動から
脱原発運動を見つめなおす！」
講師：全港湾 真島中央執行委員長
4. 講義②「港湾運送事業法と雇用確保」
講師：全港湾 島山副中央執行委員長
5. 総評：真島中央執行委員長
6. 閉講式

参加者の声

日頃から組織拡大に取り組んでいますが、なかなか結果が伴っていないのが現実です。まずは魅力ある港湾労働を目指し、組織拡大に繋がる様に諦めずに運動を頑張っていこうと思います。

原発運動の最後に真島委員長が言っていた「もうこの辺でいいや、と思ったら、その時は敗北している。何事にも落胆しない、あくまでもやり続ける、決して断念しない。」との話が今回の22春闘につながる部分だと思った。

港湾運送事業法に関する専門的なお話を詳しく聞く機会が日常ではあまりないので、よい経験ができました。受講する前と比べて職域に対する意識に変化があったと思います。

今回の講座は全て実のあるものでした。特に冒頭での「2022年春闘の重要性」はこれから春闘の団交に臨むにあたって大変参考になりました。時間外労働に麻痺してしまい、所定内時間賃金の重要性が薄れていっているように感じています。我々地方港の組合員は最低生活費が高いという点からも、業側と粘り強く交渉していきたいと思っています。

組合活動はどうしても賃上げばかりがクローズアップされがちですが若い組合員が感じている事や色々な意見などにも耳を傾け、先輩の意見も大事だが、まずは、自分の意見をしっかりとと言えるように勉強していきたい。

春闘の重要性、巻原発闘争、港湾運送事業法、3タイトルとも非常に素晴らしい内容でした。今後リモート開催になるかシーパレスで行うかは状況次第だとは思いますが、より多くの執行部・役員にこのような講座に参加し学習してほしいと思いました。それが全港湾の組織強化に繋がると確信しております。



第53期労働講座

全港湾

中央本部





22 春闘

大阪支部



総決起集会

平和あってこそその労働運動!
こんな時代だからこそ!
私たち全港湾の「綱領」に立ち戻る!
全港湾すべての組合員が団結し
「戦争反対」と声をあげよう!

小林執行委員長の挨拶で、「新型コロナウイルス感染拡大が収まらない状況で、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻・武力攻撃と世界情勢が混沌としている。こんな時こそ労働組合が先頭に立って反戦平和を訴える運動と、春闘において大幅な賃上げと労働条件を勝ち取るう!」と力強い挨拶がありました。続いて、来賓の挨拶を頂き、そして吉馴書記長より「ロシアによるウクライナへの武力侵攻を糾弾し、反戦・平和を求める声明」が読み上げられ、その中で「全港湾の綱領に=我々は広く万国の労働者と提携し、世界の進運に寄与し、以て国際平和の確立を期す=」「そして全港湾大阪支部は、平和なくして労働運動はなし!の精神を貫いてきている」と力強く声明文を読み上げました。集会最後に小林委員長の団結ガンパローで意気高揚しデモへと移りました。(大阪支部 佐久原智彦)

